

東電福島原発事故関連の年表

石川県保険医協会 原発・いのち・みらいプロジェクト作成 (2019年12月12日)

	原発周辺施設等	汚染水	避難・帰還	除染など	甲状腺検査	
2011	3月11日	19時03分 原子力緊急事態宣言発令		2、3km圏内と避難区域拡大 10km圏内屋内退避	事故以前、放射性廃棄物（セシウム）は100Bq/kgまで再利用可能という基準だった。	事故当初から幼児の甲状腺線量100mSvを超える基準1万3千CPMで、スクリーニングする予定であった。しかし、1万3千CPMを超える住民が多数いたため、現場主導で10万CPMに基準を引き上げてスクリーニングを行なった。
	3月12日	1号機爆発		10、20km圏内と避難区域拡大		
	3月14日	3号機爆発				
	3月15日	2号機・4号機破壊		20-30km圏内屋内退避指示		
	3月17日	ヘリ放水			また、実効線量5.4mSv/年を超えると、放射線管理区域として厳密に管理されていた。	
	3月19日	消防車放水（東京ハイパーレスキュー隊）、1・2号機外部電源再開				
	3月22日	キリンによる放水開始、3号機外部電源再開				
	4月2日		高濃度汚染水漏出	Jヴィレッジ 原発作業拠点に利用		
	4月4日		「廃棄物集中処理施設」低レベル汚染水海洋放出			
	4月19日				校庭使用基準3.8μSv/h未満	
	4月22日			飯館村など、計画的避難区域設定		
	4月27日				郡山市 校庭除染開始	
	6月23日		キュリオオン・アレバ社製汚染水処理装置稼働	ほぼ30km圏内は緊急時避難準備区域		
	6月27日		循環注水冷却開始			
	8月5日			賠償の中間指針（強制避難区域に関する）		
	8月26日				校庭使用基準1μSv/h未満 放射性物質汚染対処特措法 福島県外の地域の除染基準は 0.23μSv/h以上	
	8月30日					
9月30日			緊急時避難準備区域解除			
10月					1 巡目甲状腺検査開始	
12月6日			中間指針追補にて自主避難損害認める			
12月14日				林縁から20mまでを除染することなど、「除染ガイドライン」公表 3000Bq/kg以下は再利用可		
12月15日						
12月16日						
2012	5月	海側遮水壁工事開始				
	7月13日					
	9月19日			民主党政権、事故から30年他県で最終処分協議決定		
	10月					
11月16日					18歳以下医療費無料化	
2013	3月17日		既設ALPS稼働開始			
	4月5日		汚染水地下貯水槽漏洩			
	9月8日		東京オリンピック開催決定（安倍総理の汚染水アンダーコントロール発言）			
	9月18日	1・2号機排気筒亀裂発見				
	12月25日		第1回トリチウム水タスクフォース			
2014	4月				2 巡目甲状腺検査開始	
	4月9日	サブドレンからの地下水汲み上げ開始				
	4月11日			「原発再稼働方針」閣議決定		
	6月	山側凍土壁着工				
11月19日				改正JESCO法（30年後までに他県で最終処分記載）		
2015	7月				甲状腺サポート事業開始	
	9月	地下水バイパス海洋放出開始	増設ALPS稼働開始			
2016	10月26日	海側遮水壁完成	高性能ALPS稼働開始			
	3月30日			汚染土壌8000Bq/kgまで、全国で再利用可能とした。	中間とりまとめ	
2017	5月				3 巡目甲状腺検査開始	
	3月31日			自主避難者家賃補助打ち切り、帰還政策		
	5月31日				宮城県大崎市 汚染牧草のすき込み開始	
2018	8月22日	山側凍土壁一応完成				
	10月28日				汚染土の中間貯蔵施設本格稼働	
	4月				4 巡目甲状腺検査開始	
	5月16日					
7月3日			「原発ベースロード電源」閣議決定			
9月28日		ALPS処理水8割が多核種汚染ありと報道				
10月5日		規制委員長更田氏「海洋放出が最も合理的」と発言				
2019	4月10日			原発立地大熊町、一部避難解除		
	4月20日			Jヴィレッジ全面再開		
	7月9日			自主避難者に福島県が家賃2倍請求		
	7月31日				2 巡目とりまとめ確定	
	8月1日	1・2号機排気筒 遠隔解体作業開始				
	9月10日		原田環境大臣「海洋放出しか方法がない」と発言			
	9月12日				宮城県大崎市 市民の反対ですき込み中止	
	9月27日		経産省、処理水タンク増設困難と発表			
	10月3日			福島県議会、退去しない自主避難者に対し、追い出し訴訟を行う議決		
	10月7日			NGOグリーンピースが10月に行った調査で、聖火リレー出発地のJヴィレッジに高さ1m空間線量1.7μSv/hの汚染がある場所を発見。その報告により除染作業を再度行なった。	悪性・悪性疑い 243名	
11月8日				宮城県南三陸町 汚染牧草のすき込み開始		
11月28日	1・2号機排気筒ドレンサンブットから漏洩？					
12月4日	1・2号機排気筒塔、人力で解体					